

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style

[ビズスタ名古屋]

2018 03

特別版

『Biz Life Style』は東京、神奈川、関西、京都・滋賀、仙台、福岡、名古屋、広島にて60万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.052-219-7011 FAX.052-219-7041
www.dac-group.co.jp/

企画・制作/株式会社デイリー・インフォメーション中部
〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-12 伏見ビル6F
© 2018 DAILY INFORMATION CHUBU CO.,LTD



医学部合格へと導く、実力派の医学部専門予備校

メディカルラボ 本部教務統括
メディカルラボ名古屋校 校長
可児良友 先生

これまで数多くの医学部志望者を合格に導いてきた、医学部受験のカリスマ。大手予備校で受験生の指導に携わった経験をもとに、医系学部受験の指導メソッドを構築。2006年に「医系専門予備校メディカルラボ」の開校責任者となる。現在は医学部受験をテーマにした講演や著書の出版、TV等のメディア出演で注目を集めている。



いつの時代も超難関といわれてきた医学部受験だが、ここ最近はその難易度がさらさら上がっているようだ。国立においても、私立においても医学部の偏差値は上昇を続けており、医学部合格への道のりは確実に険しくなっている。その要因はいくつかあるのだが、一つは先行きの不安な時代だからこそ「手に職を」と医師を目指す受験生が増えているからだ。たとえば、これまでは東大の理Iや理IIに進んでいたような層が最近では医学部に流れてきているのである。そして、もう一つの要因は親の世代に関係する。実は1970年代は医科大学が相次いで新設された時期。それに伴い、1970年代後半〜1980年代にかけては医師国家試験の合格者数が倍増し、医師の数が急増したのである。そして今、ちょうどその増加した医師世代の子どもたちが医師になるべく医学部に殺到しているのだ。医学部受験はまさに熾烈な戦いだ。しかし、このような厳しい状況下で驚くほど多くの受験生を医学部合格へと

導いている予備校がある。それは名古屋の大名古屋ビルディングを始め、全国25カ所に校舎を構える医学部専門予備校メディカルラボである。メディカルラボは2006年に第1号校舎として名古屋校を開校して以来、年々医学部の合格者数を増やしており、2017年度には802名の合格者を輩出。また、2018年度においても推薦入試で既に150名の合格者を出しており、この実績は数ある医学部専門予備校のなかでも間違いなくNo.1である。

医学部受験が過熱するこの厳しい時代において、何故ここまで多くの合格者を輩出することができるのか、他の医学部専門予備校とはいったい何が違うのか――。今回はメディカルラボの合格メソッドを紐解くために、こだわりの指導方針や授業システム、サポート体制について、本部教務統括を務める可児良友先生に話を聞いてみた。



My Favorite Life Style



横井完汰さん
岐阜大学医学部在籍

舟橋敬之さん
日本大学医学部在籍

可児良友 先生
メディカルラボ 本部教務統括
メディカルラボ名古屋校 校長

可児先生 × OB (医学部合格者) 座談会

個別カリキュラム、マンツーマン授業、 戦略的な受験校選定で合格に導きます。



入校時の学力や志望校に合わせて個別に学習カリキュラムを作成。「どこの大学でも受かる」という漠然とした学習ではなく、生徒一人ひとりの学力や勉強法を正確に診断することで、効率的かつ的確な受験勉強が可能になる。

一般的予備校と違うのは、個別の指導方法にどのような違いがあるのでしょうか。
まず、一般的な予備校と違うのは、個別の授業をマンツーマンで行っているという点です。集団授業の場合、自分専用の授業ではありません。十分理解できているところでも授業をしっかりと時間をかけて聴かなくてはなりません。逆にわからないからといってその部分だけを丁寧に教えてもらうこともできません。でも、マンツーマンの授業はその子にとって本当に必要なことに時間をかけて教えることができます。私自身も、もとは集団授業の予備校で10年以上教えてきましたが、この違いが如何に大きいかはよくわかります。
また、授業システムにもこだわりがあり、講義50分+演習50分+講義50分の150分で授業を行っています。重要なのは真ん中の演習の時間。講義を受けてわかったつもりになっても、自分でやってみると解けないというのはよくあることです。講義後自分で演習問題を解いてもらい理解

度をしっかりとわかる。そしてできる問題とできない問題を仕分けした上で、完全に理解できるよう最後の50分で解説を行います。

生徒によってカリキュラムの内容はまったく違うのでしょうか。
メディカルラボでは入校するときにスタート時点での学力をはかるため、テストを受けてもらいます。このテストはどの単元がどのレベルまでできるかを確認するためのもので、例えば数学であれば数1から数IIIまでの全ての単元について基本・標準・応用のどこまでできているかを細かくチェックします。一般的な予備校の場合、同じクラスでも単元ごとに見ると得意分野や不得意分野はそれぞれ違うものです。どこに穴があるのかをチェックしたうえで、個別にカリキュラムを作成しています。

合格するためには戦略的な受験校選びが重要だとお聞きしました。
医学部は全国に82大学ありますが、大学によって問題の難易度や量傾向はまったく違います。たとえば、スピードのある受験生であれば、問題量の多い大学が有利。また、難易度の高い問題が解けるようになっている受験生なら標準レベルの出題ばかりの大学より難度の高い出題が多い大学にチャレンジすることで差をつけられます。出題形式も多様です。英作文についても自由英作文、和文英訳、整序作文などがありそれぞれ得意不得意は生徒ごとに違います。ですから大学の偏差値レベルだけでなく、入試問題との相性まで考えて受験校を選ぶことが重要です。メディカルラボはマンツーマンで教えていますから、個々の特性を把握したうえで受験校選びのマッチング指導を行っています。また、受験校に合わせて的確な指導ができるマンツーマンならではの強みです。



自習室は年中無休で利用可能。「集中して勉強に取り組めるように」「自宅で勉強がはかどらない生徒にできる限り良い環境を」という想いから、自習室もすべて個別ブースに。朝9時～夜10時まで自由に利用することができる。



全国25都市にある校舎から各エリアの医学部入試情報を集約。入試問題の分析結果をまとめた「全国医学部最新受験情報」を毎年発行している。その他、入試情報のトピックスなどを掲載した「メディカルラボ通信」を発行している。



教室はすべてマンツーマン授業用の個別ブース。教室内にはホワイトボードが備えつけられており、家庭教師のような授業ではなく、板書も交えながらプロ講師による本格的な予備校の授業が行われる。



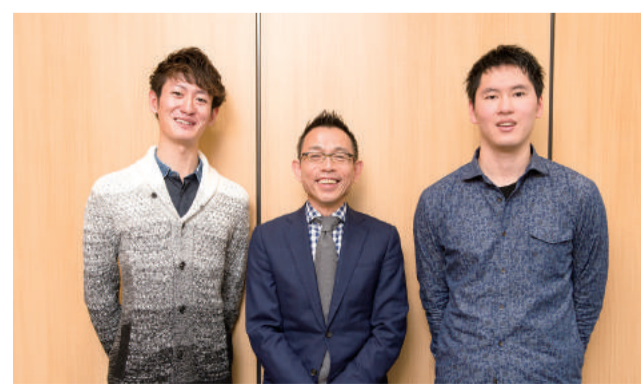
現役時代は勉強する習慣がなく、受験前でも遊びに行ったり、予備校でも寝てしまったりすることが多かったのですが、メディカルラボは1対1だからそんなわけにいかず、勉強する習慣を身につけることができました。

可児先生とOB(医学部合格者)の座談会。可児先生は、現役時代は勉強する習慣がなく、受験前でも遊びに行ったり、予備校でも寝てしまったりすることが多かったのですが、メディカルラボは1対1だからそんなわけにいかず、勉強する習慣を身につけることができました。

横井先生は、現役時代は勉強する習慣がなく、受験前でも遊びに行ったり、予備校でも寝てしまったりすることが多かったのですが、メディカルラボは1対1だからそんなわけにいかず、勉強する習慣を身につけることができました。



中学・高校と公立でまわりに医学部を目指す人もほとんどおらず基礎力に不安がありました。メディカルラボで上達だけでなく本質からしっかり教えてもらったのは、高校や他の予備校ではできなかった貴重な経験です。



出しされたことですね。何度も確認しているはずなのに、計算ミスが半分以上続いて先生からは「ず」と厳しいことを言われていました。でも、何度か言われたから逃げないで自分の問題に取り組めるようになったと思います。
横井先生は、僕も現役時代は勉強する習慣がなく、受験前でも遊びに行ったり、予備校でも寝てしまったりすることが多かったのですが、メディカルラボは1対1だからそんなわけにいかず、勉強する習慣を身につけることができました。

My Favorite Life Style

学校説明会

※参加を希望される場合は
あらかじめご予約をお願いします。

参加
無料

メディカルラボについて、詳しく知りたい方を対象にした学校説明会

メディカルラボ名古屋校 学校説明会

- 内容 1.授業システムや学費 2.医学部入試の現状や合格するための勉強法
3.進路や勉強法についてのご相談 4.校舎見学
- 日程 **3/11(日)** 午前の部 11:00～ 午後の部 15:00～
3/15(木) 午前の部 11:00～ 午後の部 15:00～
- ※寮見学をご希望の方はご予約時にお申し付け下さい。
- 会場 **メディカルラボ名古屋校**

国公立医学部志望者のための学校説明会

国公立医学部受験に克つ メディカルラボの合格戦略

- 内容 難関の国公立医学部受験に克つために、合格者の事例を交えながら、
医学部合格に必要な英語・数学の学習法や、
メディカルラボの受験戦略を余すことなくお伝えします。
- 日程 **3/18(日)** 15:00～
- 会場 **大名古屋ビルディング5F 会議室**

イベント

※参加を希望される場合は
あらかじめご予約をお願いします。

参加
無料

2018年度入試 医学部合格者座談会

- 内容 この春メディカルラボから医学部合格を果たした先輩たちによる座談会です。
1日の学習時間やスケジュールの立て方、お勤めの参考書など具体的な学習法
から、モチベーションの保ち方まで先輩たちの成功体験が聞けるチャンスです!
- 日程 **3/17(土)** 15:00～
- 参加者には「2018年度用 全国医学部
最新受験情報(2,700円税込)」をプレゼント
- 会場 **大名古屋ビルディング5F 会議室**

医学部入試合格ガイダンス～医学部受験準備編～

- 内容 医学部入試に関する最新情報から、合格するための勉強法など医学部受験に
向けての第一歩をお伝えします。医学部を志望する学生・保護者の方は必聴
のガイダンスです。
- 1.医学部の入試科目 2.合格に必要な学力 3.合格するための勉強法
4.入試問題の特徴 5.入試のスケジュール 6.医学部 学費
- 日程 **3/24(土)** 15:00～
- 会場 **大名古屋ビルディング5F 会議室**
- 参加者には「2018年度用 全国医学部
最新受験情報(2,700円税込)」をプレゼント



※説明会・イベントのお申し込みは

「ホームページ」または「フリーダイヤル」までご連絡下さい。

現在、メディカルラボは全国に25校舎あるが、そのなかで名古屋校は本部校として位置付けられている。他の校舎と比べると歴史があり、先生の数も圧倒的に多く、約180人の先生が在籍している。名古屋校が開校した当時と比べると校舎の数が増え、生徒数ももちろん増えたが、ここ最近では落ち着きをみせている。合格者数の増加は単純に生徒数の増加によるものではない。ここ数年で合格者数が急増しているのはマンツーマン指導メソッドが定着したこと、そして大学別過去問題指導要綱の作成を始めた影響が大きいという。この過去問題指導要綱は、全国の医学部受験の情報を集約して作成されるメディカルラボ独自の合格対策である。各大学の出題傾向を分析し、何問目から解答したら良いか、何問目の対策にはどの問題集をどのレベルまでやる必要があるかなど、驚くほど細かいところまで対策を練り上げられている。以前からこのような対策や指導は行っていたが、2年前に情報をしっかりとデータ化し共有を始めたことで、他エリアの大学にも受かりやすくなったという。

このような情報の集約・共有は、学科試験だけでなく面接対策にも生かされている。近年の医学部受験は面接試験が非常に重要視されており、高い配点比率を設定する大学が増えている。たとえば大分大学の場合、英語100点、数学100点に対し、面接は200点の割合で設定されている。また、配点はないものの、医師や研究者に適さないかと判断された場合は学科試験の点数に関わらず不合格にすることがあると募集要項に明記している大学もある。実際、面接によって不合格になるケースもあり、医学部合格には面接対策が不可欠なのである。学科試験と同様に面接試験も大学によってかなり形式や傾向が異なる。集団討論を実施する大学もあれば、医師と患者という設定でロールプレイングを行う大学もある。メディカルラボでは受験生からどのような面接が行われたかレポートを集めて独自に面接試験の過去問題集を作成している。そして、作成されたデータや過去問題集をもとに個別の対策を講じていくという。生徒によって性格や歩んできた人生が異なるため、面接も一人ひとりに寄り添って指導していくことが大切なのだ。このように徹底した個別サポートを受けられるからこそ、受験生は万全の態勢で医学部受験に臨むことができるのだ。メディカルラボはこの指導メソッドで、今後も多くの医学部合格者を輩出していくに違いない。



大名古屋ビルディングの15Fにあるメディカルラボ名古屋校。名古屋駅地下街から直結しているため、アクセスは非常に便利。365日使用できる自習室や個人ロッカーなど設備も充実している。

ビズスタ読者限定特典

資料請求を頂いた方に、
著書「あなたの医学部合格をかなえる成功の9ステップ」
(定価1,620円税込)をプレゼントします。

※問い合わせ電話番号より、資料請求の際に、「ビズスタを見た」と仰っていただくか、
ホームページより資料請求画面「その他ご意見・ご質問」欄に「ビズスタを見た」と明記下さい。
※受付メ切:2018年3月31日



DDX 医系専門予備校 **メディカルラボ 名古屋校**

資料請求・お問い合わせ

フリーダイヤル **0120-456-837** ※年中無休 (9:00～22:00)

〒450-6415 名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビルディング15F
http://www.medical-labo.com/

※右記二次元コードからもホームページをご覧いただけます。



大名古屋ビルディング



JR、地下鉄、名鉄、近鉄「名古屋駅」より徒歩2分(名古屋駅より地下街にて直結)